

2023 年度

事 業 報 告 書

一般社団法人 日本産業機械工業会

目 次

I	概括	1
II	部会関係	2
	1. ボイラ・原動機部会	2
	2. 鉦山機械部会	3
	3. 化学機械部会	4
	4. 環境装置部会	5
	5. タンク部会	16
	6. プラスチック機械部会	17
	7. 風水力機械部会	19
	8. 運搬機械部会	21
	9. 動力伝導装置部会	23
	10. 製鉄機械部会	23
	11. 業務用洗濯機部会	24
	12. エンジニアリング部会	25
III	委員会関係	27
	1. 政策委員会	27
	2. 労務委員会	30
	3. 貿易委員会	31
	4. 編集広報委員会	32
	5. 産業機械工業規格等調査委員会	32
	6. 産業機械工業功績者表彰選考委員会	32
	7. 環境委員会	33
IV	関西支部関係	35
V	共通基盤事業関係	39
VI	共通基盤活動関係	43

I 概括

日本経済は、2023年の実質GDPが+1.9%となるなど、3年間のコロナ禍を乗り越え、緩やかな回復基調を取り戻しつつある。個人消費の弱さが目立つものの、民間設備投資は高水準な企業収益に支えられ、増加傾向をたどっている。

そのような状況のもと、一般社団法人日本産業機械工業会（以下、当工業会という）の2023年度の受注は、外需の減少を内需の増加が補う形となり、前年度比プラス6.0%の5兆5,821億円となった。なお、過去の受注金額と比較すると、直近では2015年度5兆4,576億円を超え、約10年前の水準まで回復した。内需については、化学工業、石油製品、鉄鋼、自動車等の増加の他、火力発電設備の大口契約もあって民需が前年度を上回り、官公需も老朽インフラの更新需要等が堅調に推移した。外需については、アジア、中東、ヨーロッパ、南米、アフリカ等の殆ど地域が減少し、特に半導体・EVバッテリー関連の需要が落ち込んだ。

こうした中、当工業会では、エネルギー・環境分野等の地球規模の課題解決、我が国産業の生産性向上・競争力強化、産業機械産業の更なる成長を実現すべく、各部会・委員会活動を通じて、各種事業に取り組んだ。

国際交流・技術協力に関する事業では、海外貿易会議をモロッコ・スペインで開催したほか、海外の産業機械の市場動向及び諸外国の貿易政策等について調査を行った。

低・脱炭素社会、循環経済の実現に向けた取り組みについては、環境活動基本計画における2030年度のCO₂排出削減目標の見直し、優秀環境装置の表彰、CO₂回収及び利活用分野への取り組み方の検討、射出成形機のエネルギー消費量の測定方法の検討、リネンサプライ工場のCO₂削減・省エネ効果のモデル仕様の策定等を行った。

標準化に関しては、日本産業規格（JIS）、国際標準化機構（ISO）、当工業会規格（JIMS）等の規格の制定・改正等に取り組んだ。

安全対策と産業事故等の防止については、「メカニカルシールの予備品準備のお勧め」、「設備用水中ポンプを長期保管するときの注意事項」、「取り扱いの際の危険性を喚起するガイドライン（業務用洗濯機）」等の資料の作成・発行を行った。

教育・研修等の人材育成の推進については、若手社員育成のための基礎講座（化学機械）、ポンプ技術者連盟技術セミナー、送風機技術者連盟技術セミナー、メカニカルシール講習会等を開催した。

調査研究については、新環境ビジネスの創出に関する調査研究、液体水素・燃料アンモニア等の代替エネルギーの技術動向調査、プラスチック機械産業の市場動向調査、トップラナーモータ規制の動向調査等を行った。

その他、中小企業等経営強化法の経営力向上設備等に関する税制措置への対応、適正取引の推進に向けた行動計画の推進等を行った。

これら事業等の実施にあたっては、関係省庁及び関連団体並びに多数の有識者から様々な形で協力を賜った。

ここに会員共々関係各位に厚く感謝の意を表するものである。

Ⅱ 部会関係

1. ボイラ・原動機部会

(1) 役員改選

2023年6月15日の部会総会において、次のとおり選任した。

部会長：高橋 祐二 三浦工業株式会社 取締役会長（再任）

副部会長：詫間 俊二 株式会社サムソン 専務取締役（兼）
専務執行役員（再任）

幹事長：小野 巧 三浦工業株式会社 BP事業推進ブロック
ブロック長（再任）

技術委員長：久郷 康行 株式会社ヒラカワ 執行役員 技術本部長（新任）

(2) 統計調査の実施

ボイラの機種別、容量別の受注台数の統計調査を行い、産業動向の調査を行った。

(3) エネルギー、環境関連の情報収集及び普及活動の推進

ア. 2023年9月20日に次の通り勉強会を開催した。

テーマ：欧州カーボンニュートラル動向

講師：八木 克記 殿 カール・デュングス合同会社 職務執行者社長 兼
アジアパシフィック営業統括

イ. 2024年1月22日に次の通り勉強会を開催した。

テーマ：都市ガスのカーボンニュートラル化に向けた挑戦

講師：倉内 雅人 殿 一般社団法人日本ガス協会 普及部
普及推進グループ 兼
カーボンニュートラル推進センター 課長

菊池 賢太 殿 一般社団法人日本ガス協会普及部
普及推進グループ 兼
エネルギーシステム企画グループ 課長

ウ. これまでCO₂削減対策として調査した水素やアンモニアなどの技術や装置の内容の取りまとめを行った。

エ. 一般社団法人低炭素投資促進機構が行う低炭素設備リース信用保険、及び一般社団法人環境金融支援機構が行うESGリース促進事業適合性確認と製品の登録申請を行った。

(4) 施設調査の実施

ア. 東西合同会議において、2023年10月12日に軍艦島デジタルミュージアム及び三菱重工業株式会社長崎造船所 長崎工場を訪問し、視察を行った。

イ. 2023年10月19日に国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 那珂研究所を訪

問し、JT-60SA中央制御室、解体されたJT-60コイル、高周波加熱試験施設などの視察を行った。

(5) 部会間の交流

2023年11月8日に、部会の活動及び各社の事業の参考となることを目的にタンク部会/ボイラ・原動機部会 合同情報交換会を開催した。

(6) 女性職員間の交流促進のあり方の検討

女性職員間の交流促進を目的に営業職の日常業務について情報交換を行い、以下の施設調査を実施した。

ア. 2023年6月20日に東京ガス株式会社 ガスの科学館「がすてなーに」を訪問し、ガス・エネルギーの特長、これからの暮らし・社会、SDGs、地球温暖化（または気候変動）などの社会の課題について視察を行った。

イ. 2024年3月6日に東京ビッグサイトで開催されたFOODEX JAPAN2024の視察を行った。

(7) 関係行政機関及び関連団体等への協力

国際標準化機構規格に関し、関係行政機関及び関連団体等の専門委員会等に委員を派遣し、関連業界の意見のとりまとめ等に協力した。

ア. ISO/TC161（ガス及び/又は油用制御器及び防護装置）国内対策委員会及びWG

イ. ISO/TC109（オイル及びガスバーナー）国内対策委員会

2. 鉦山機械部会

(1) 役員交代

2023年7月5日の部会総会において、次のとおり選任した。

部会長：伊藤 春彦 株式会社東亜利根ボーリング 代表取締役社長（新任）

副部会長：矢野 信彦 株式会社氣工社 代表取締役社長（新任）

(2) 統計調査の実施と分析

関連機械に関する統計調査を行い、産業動向を分析把握した。

(3) 機械安全の推進

「ボーリングポンプ・グラウトポンプ」、「マッドミキサ・グラウトミキサ」に関する「安全マニュアル」の見直しを引き続き検討した。

(4) 関連情報収集等調査の実施

国内外の市場動向等について情報収集等を行った。

(5) 講演会及び研修会等の実施

ア. 講演会 2023年7月5日

演 題：「AIを用いた、掘削制御の特異点」

講 師：伊藤 春彦 殿 株式会社東亜利根ボーリング 代表取締役社長

イ. 研修会

a. 2023年6月1日

愛媛県東温市、「大野開発株式会社 フレップとうおん」を訪問し、管理型埋立処分場、再生砕石製造工程等を見学した。

b. 2023年10月4日

茨城県水戸市、「水戸環境テクノロジー株式会社」を訪問し、リサイクル分別等の行程を見学した。

c. 2023年11月1日

兵庫県明石市、「川崎重工業株式会社 明石工場」を訪問し、二輪車（オートバイ）の製造工程を見学した。

(6) 関係行政機関及び関連団体等との交流

経済産業省及び一般財団法人日本規格協会等との交流を行った。

3. 化学機械部会

(1) 役員改選

2023年7月14日の部会総会において、次のとおり選任した。

部会長：福沢 義之 月島機械株式会社 代表取締役社長 社長執行役員（再任）

幹事長：篠原 貴雄 月島機械株式会社 営業部長（新任）

(2) 調査研究の実施

ア. 化学機械分野における環境対応、省エネルギー技術、安全性について情報の収集を行い、問題点を共有し、その解決に向けた検討を行った。

イ. 若手社員育成のための基礎講座を2024年2月28日に次のとおり開催した。

テーマ1：タンクの種類について（法規について）

講 師：寺尾 達朗 殿 株式会社石井鐵工所 鉄構事業本部技術部

テーマ2：カーボンニュートラルに貢献する様々な装置

講 師：藤澤 卓 殿 株式会社神鋼環境ソリューション
プロセス機器事業部 事業推進室

テーマ3：粒状活性炭を用いた排ガス処理装置 - 溶剤回収装置 - の紹介

講 師：大畑 和豊 殿 株式会社栗本鐵工所 機械システム事業部
粉体プロセス本部

(3) 講演会の実施

2024年3月15日に化学機械製造の検査要求トレンド「PMI」について講演会(勉強会)開催した。

テーマ: Positive Material Identification(PMI)について

講師: 今井 崇夫 殿 株式会社エビデント マーケティング&プランニング
加藤 洋 殿 株式会社エビデント 産業機器営業、検査機器営業

(4) 施設調査の実施

次のとおり、国内施設調査を実施した。

ア. スーパーエコタウン (10月4日、東京都大田区)

株式会社アルフォ 城南島第2飼料化センター(食品廃棄物を原料とする飼料化工程及びバイオガス発電施設)及びバイオエナジー株式会社城南島工場(食品廃棄物を原料とするバイオガス発電施設)を視察した。

イ. 三浦工業株式会社 (11月1日、愛媛県松山市)

松山本社工場(ボイラ製造ライン)及び北条工場(制御基板組立ライン)を視察した。

(5) 海外施設調査の実施検討

アジア地域等新興国の需要動向等の調査のため、海外施設調査候補地域につき検討を開始した。

4. 環境装置部会

(1) 役員改選

2023年4月26日の部会総会において、次のとおり選任した。

部会長: 小木 均 日立造船株式会社 専務執行役員(再任)

副部会長: 能勢 洋也 荏原環境プラント株式会社

取締役 運営事業本部本部長(再任)

副部会長: 福原 真一 株式会社クボタ

執行役員 環境事業部長 水循環事業ユニット長(新任)

副部会長: 薄木 徹也 JFEエンジニアリング株式会社 常務執行役員(再任)

副部会長: 中根 幹夫 新東工業株式会社 取締役 常務執行役員

ものづくり本部 本部長(再任)

副部会長: 竹口 英樹 株式会社タクマ 取締役 専務執行役員

エンジニアリング統轄本部長 兼 管理センター長(再任)

(2) 統計調査の実施と分析

環境装置産業の装置別生産・輸出実績に関する調査を実施し、国内外の関係先に広く配布し参考に供した。

(3) 環境関連技術等に関する調査研究の実施

ア. 環境装置産業の事業展開に関する調査研究

環境装置産業としてのビジネスチャンス拡大に向け、地域の自立・自律や活性化を指向した取組における環境装置産業の今後の在り方を取りまとめるため、地方自治体等での社会インフラ維持等の地域課題解決に向けた公民連携の取組事例に関し、情報収集及び整理、ヒアリング調査、意見交換を行った。

a. 地域課題解決に向けた事例調査

① 2023年6月26日 大崎町（鹿児島県）

埋立処分場、リサイクルセンター、有機工場の見学を行うとともに、大崎町におけるごみ処理方法決定の経緯と普及に向けた取組について調査を行った。

② 2023年6月27日 鹿児島市（鹿児島県）

鹿児島市南部清掃工場を訪問し、バイオガス施設及び高効率発電施設（ごみ焼却施設）について調査を行った。また、かごしま環境未来館を訪問し、施設の見学を行うとともに、鹿児島市の「ゼロカーボンシティかごしま」に関する取組について調査を行った。

③ 2023年10月3日 鹿追町（北海道）

鹿追町環境保全センターを訪問し、バイオガスプラント施設、水素製造施設等の見学を行った。また、鹿追町における地域脱炭素化に向けた取組に関する調査及び社会インフラの維持について意見交換を行った。

④ 2023年10月4日 株式会社阿寒マイクログリッド（北海道釧路市阿寒町）

マイクログリッド事業、メタン発酵バイオガスプラント施設等について調査を行った。

⑤ 2023年10月4日 弟子屈町（北海道）

「弟子屈・ジオ・エネルギー事業」に関する取組について調査を行うとともに、社会インフラの維持に関する意見交換を行った。

⑥ 2023年12月11日 松隈地域づくり株式会社（佐賀県吉野ヶ里町松隈地区）

松隈小水力発電所を訪問し、施設の見学を行うとともに発電事業及び持続可能な地域づくりに関する取組について調査を行った。

⑦ 2023年12月11日 佐賀県

佐賀県における脱炭素化推進、エネルギーなど社会インフラの維持等について意見交換を行った。

⑧ 2023年12月12日 小国町（熊本県）

わいた地熱発電所を訪問し、施設の見学を行った。また、小国町におけるSDGs未来都市、持続可能なまちづくりに関する取組についてヒアリングを行うとともに、社会インフラの維持に関する意見交換を行った。

⑨ 2024年2月21日 瀬戸内Kirei太陽光発電所（岡山県瀬戸内市邑久町）

施設の見学を行うとともに、塩田跡地を利用した太陽光発電事業、浸水対策な

どを強化する安全安心事業、塩性湿地特有の多様な生態系を保全する環境保全事業に関する調査を行った。

イ. 新環境ビジネスの創出に関する調査研究

新たな環境ビジネスに関する考察及び講演会等を行った。

a. 今後成長が期待される分野に関する調査研究

セメント会社及びガス会社におけるカーボンニュートラルへの取組み、ごみ処理施設からのCO₂分離回収・利活用、水電解水素製造装置、ゼオライト膜を利用したCO₂回収技術、カーボンプライシング、ケミカルリサイクルに関する情報収集を行った。また、会員企業のカーボンニュートラルの取組みについて紹介を行った。

b. 新たな水環境ビジネスに関する調査研究

下水汚泥の資源化に向けた政策動向、下水資源を活用した藻類培養、下水道施設の再生可能エネルギーを核とした地域マイクログリッド構築、アクアポニックス、下水処理施設の広域化に資する高効率固液分離技術、上下水道分野におけるBIM/CIMの活用、PFI/PPPの動向に関する情報収集を行った。また、関連分野の理解深耕、気づきを得ること等を目的に、会員企業で意見交換を行った。

c. 地域資源エネルギーの利活用に関する調査研究

循環経済、カーボンニュートラルの実現に向け、地域資源エネルギーの利活用におけるカテゴリーを「入口（収集）」「出口（需要・供給先）」「仕組み（制度、産業間連携、等）」の3つに分け、バイオマスやCO₂等の資源発生元と利活用先、政府や自治体の取組みについて情報収集を行い、課題抽出及び解決策について会員企業で意見交換を行った。

d. 先端技術に関する調査研究

2050年頃に社会実装が見込まれる、最先端の研究開発技術の調査及び研究機関等で予測されている未来の絵姿について幅広く情報収集を行った。

e. デジタル・AIに関する調査研究

環境装置メーカーがデジタルトランスフォーメーション（DX）に取り組むにあたり抱える課題について意見交換を行った。また、生成AIの活用事例及び社内規定のあり方、各種業界におけるDXの取組み事例、ITベンダー・SIer等の製品・サービス、人材育成等について情報収集を行った。

f. セミナー、講演会、施設調査等の実施

① 新たな環境ビジネス創出に関する講演会

2023年5月17日

テーマ：太平洋セメントのカーボンニュートラル戦略
～世界のトップランナーを目指して～

講師：北林 勇一 殿 太平洋セメント株式会社 代表取締役副社長

2023年5月23日

テーマ：環境で地域を元気にする地域循環共生圏＝ローカルSDGs

講師：佐々木真二郎 殿 環境省 大臣官房 地域政策課
地域循環共生圏推進室長

2023年5月31日

テーマ：「デジタルスキル標準（DSS）」の狙いと内容
ーDX リテラシーと5つの人材類型が担う業務と責任ー
講師：藤中 紀孝 殿 独立行政法人情報処理推進機構
社会基盤センター
人材プラットフォーム部 研究員

2023年6月1日

テーマ：上下水道分野におけるPFI/PPPの動向と展望
講師：浅川 博人 殿 株式会社三井住友トラスト基礎研究所
PPP・インフラ投資調査部 上席主任研究員

2023年6月7日

テーマ：多孔性配位高分子（PCP/MOF）の商業化最新動向2023.6
講師：樋口 雅一 殿 京都大学高等研究院
物質-細胞統合システム拠点 特定准教授

2023年7月4日

テーマ：バイオマス産業都市及び農山漁村における
再エネ導入促進の取組み
講師：渡邊 泰夫 殿 農林水産省 大臣官房 環境バイオマス政策課
再生可能エネルギー室長

2023年7月4日

テーマ：2040年 私の「ふつう」
講師：石寺 修三 殿 株式会社博報堂 博報堂生活総合研究所 所長

2023年7月21日

テーマ：ChatGPTの社内利用とその社内規程の改定ポイント
講師：角田 進二 殿 赤坂国際法律会計事務所 弁護士

2023年7月27日

テーマ：秋田臨海処理センターエネルギー供給拠点化事業
ー環境省脱炭素先行地域（第1回選定）事業ー
講師：熊谷 聡 殿 秋田県建設部 下水道マネジメント推進課
政策監
黒崎 亨 殿 秋田県建設部 下水道マネジメント推進課
副主幹

2023年8月25日

テーマ：宇宙無人建設革新技術開発における取組
講師：吉田 真人 殿 国土交通省 大臣官房
参事官（イノベーション）グループ
施工企画室 課長補佐

2023年8月31日

テーマ：Daigasグループにおける
カーボンニュートラル社会の実現に向けた取組み
講師：栗原 洋介 殿 大阪ガス株式会社 経営企画本部 企画部

カーボンニュートラル推進室長

2023年9月5日

テーマ：日水コンのBIM/CIM

講師：松山 洋 殿 株式会社日水コン 建築事業部
東部建築部 副部長
小野寺 健 殿 株式会社日水コン 建築事業部
東部建築部 技術第一課 主任
秦 裕弥 殿 株式会社日水コン 機電事業部
東部機電部 北海道技術課

2023年9月6日

テーマ：水電解装置「SOEC」開発

講師：小田 修三 殿 株式会社デンソー
環境ニュートラルシステム開発部
システム開発室 課長

2023年10月5日

テーマ：ROBOTICS CONSTRUCTION

デジタルツインでつくる新しい建設のかたち

講師：清酒 芳夫 殿 株式会社大林組 ロボティクス生産本部
企画管理部 部長

2023年10月12日

テーマ：水素エネルギーの普及拡大に向けた東京都の取組状況

講師：村野 哲寛 殿 東京都 産業労働局 産業・エネルギー政策部
新エネルギー推進課
水素エネルギー推進担当課長

2023年10月18日

テーマ：川崎カーボンニュートラルコンビナート構想について

講師：江崎 哲弘 殿 川崎市 臨海部
国際戦略本部 成長戦略推進部
カーボンニュートラル推進担当 担当課長

2023年11月7日

テーマ：カーボンプライシングの現状と展望

講師：諸富 徹 殿 京都大学大学院 経済学研究科
地球環境学堂 教授

2023年11月14日

テーマ：社会インフラ施設の持続化

防災・減災・強靱化の取り組み

講師：野原 徹 殿 日本ソフト開発株式会社
IoT環境システム統括本部 本部長

2023年11月27日

テーマ：Future Design

私たちの存続可能性をめざして

講師：西條 辰義 殿 京都先端科学大学 国際学術研究院 特任教授
2023年12月7日

テーマ：「ケミカルリサイクル」「メカニカルリサイクル」
「バイオマスプラスチック」その開発と事業化状況について

講師：府川伊三郎 殿 株式会社旭リサーチセンター
シニアリサーチャー

(資源循環交流会との共催)

2023年12月21日

テーマ：ポジティブ・イリュージョンの脳科学

講師：山田真希子 殿 国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構
量子医科学研究所 脳機能イメージング研究部
脳とこころの研究グループ グループリーダー

2024年1月16日

テーマ：New Energy, New Future!! 人類に、「火」の次の発明を。

講師：吉野 伸 殿 株式会社クリーンプラネット
執行役員 Chief Thermal Engineering Officer

2024年1月26日

テーマ：横須賀市のChatGPTの本格実装と見据える未来について

講師：青木 伸広 殿 横須賀市役所 経営企画部
デジタル・ガバメント推進室 主査

2024年2月9日

テーマ：下水汚泥資源の肥料利用に向けた動きについて

講師：清水浩太郎 殿 農林水産省 大臣官房
環境バイオマス政策課長

2024年2月15日

テーマ：将来世代が直面する未来課題とその解決に向けた挑戦

講師：足達英一郎 殿 株式会社日本総合研究所
常務理事 未来社会価値研究所長

2024年2月15日

テーマ：ChatGPT時代の企業のありかた
ー企業はAIとどう向き合い活用すべきなのか

講師：瀧口 裕介 殿 パナソニック コネクト株式会社
IT・デジタル推進本部 戦略企画総括部
戦略企画部 グローバルIT企画課
マネージャー

2024年2月16日

テーマ：AI最新動向と環境ビジネス分野での活用について

講師：松原 雅信 殿 ソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社
法人サービス事業部 事業推進部 営業企画課

データサイエンティスト

2024年2月27日

テーマ：ゼオライト膜を用いたCO₂分離回収技術

講師：日高 秀人 殿 三菱ケミカル株式会社
スペシャリティマテリアルズビジネスグループ
ライフソリューションズ本部
グローバル分離材事業部
メンブレンマーケティングマネジャー

2024年3月13日

テーマ：フュージョンエネルギー・イノベーション戦略

講師：高橋 佑也 殿 内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局
参事官（統合戦略官）付参事官補佐

② 新たな環境ビジネス創出に関する施設調査

2023年4月19日

ゆめファーム全農SAGA（佐賀県佐賀市）
（清掃工場から排出される二酸化炭素及び熱を活用したキュウリの促進栽培実証施設）

2023年4月20日

佐賀市清掃工場
（ごみの焼却時に発生する二酸化炭素の分離・回収及び利活用を中心としたバイオマス産業都市の取組）

2023年4月20日

佐賀市下水浄化センター
（下水処理における季別運転によるノリ養殖支援、下水汚泥堆肥化、消化ガスから回収した二酸化炭素の藻類培養への利用に関する調査）

2023年7月7日

株式会社アクポニ 湘南アクポニ農場
（淡水養殖と水耕栽培を合わせた農法・アクアポニックスの普及を目的とした施設）

2023年7月20日

大津市環境美化センター及び北部クリーンセンター
（国内初のごみ処理施設2施設の建設・運営事業）

2023年7月25日

太田市外三町広域清掃組合クリーンプラザ
（高効率廃棄物発電）

2023年8月23日

JFEエンジニアリング株式会社 5G Innovation Plant
（実プラント設備で5G等高速無線通信技術を実装した実証施設の運用状況）

2023年9月20日

八戸市森林組合及び伐採現場

(林業及び未利用材活用の現状と課題)

2023年9月21日

バイオガスエネルギーとわだ

(食品系廃棄物を活用したバイオガス発電設備の運営状況)

2023年9月29日

真庭森林組合

(間伐事業及びチップ燃料化事業)

2023年9月29日

昭和化学工業株式会社 岡山工場

(木の皮を活用した木質バイオマス熱風炉による珪藻土乾燥プラント)

2023年11月15日

株式会社NTT データ 三鷹データセンターEAST

(国内最大規模・最新鋭のデータセンターの特長や運用状況)

2023年11月16日

米代川流域下水道大館処理センター

(秋田県北地区広域汚泥資源化事業)

2023年11月17日

秋田湾・雄物川流域下水道秋田臨海処理センター

(超高効率固液分離技術 (B-DASH))

2023年12月4日

横浜市鶴見工場

(清掃工場におけるCO₂分離・回収実証設備)

2023年12月11日

大阪ガス株式会社

カーボンニュートラル研究開発拠点「Carbon Neutral Research Hub」

(メタネーション技術及び水素製造・ケミカルループ燃焼技術、アンモニア利用エンジン等の研究開発)

2023年12月13日

東京ガス株式会社 横浜テクノステーション メタネーション施設

(水素及び合成メタンの地産地消並びにCO₂の循環モデルの構築のための実証)

2023年12月14日

大崎クールジェン株式会社

(CO₂分離・回収型IGFCの実証及びCO₂の有効利用)

2023年12月14日

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

カーボンリサイクル実証研究拠点

(カーボンリサイクルの要素技術開発や実証研究の集約拠点の状況)

2024年1月31日

アストロスケール株式会社 オービタリウム

(スペースデブリの観測・除去技術及び衛星製造等の取り組み)

2024年2月28日

東洋電装株式会社 可部事業所

(中小企業におけるDXの取り組み(製造DX、オフィスDX))

ウ. 素材系資源循環に関する情報収集・発信

サーキュラーエコノミー及び廃プラスチック資源循環、鉄スクラップの利活用、電池(リチウムイオン電池、太陽光発電パネル)のリサイクルに関する政策動向や取り組みについて、動静脈産業や自治体、政府などから広く情報収集を行った。また、情報発信の実施に向け、経済産業省 産業技術環境局 資源循環経済課と業界の現状と課題について意見交換し、今後の発信内容や方法を検討する際の参考とした。

① 講演会

2023年6月28日

テーマ：金属産業の現状と課題について

講師：富永 和也 殿 経済産業省 製造産業局 金属課
金属技術室総括補佐

2023年6月28日

テーマ：金属スクラップ市場の動向

講師：三上 慎史 殿 株式会社日刊市況通信社 代表取締役社長

2023年10月19日

テーマ：太陽光パネルのリユース・リサイクルの現状と課題

講師：細田 雅士 殿 一般社団法人
太陽光パネルリユース・リサイクル協会
事務局長

2023年10月19日

テーマ：ソーラーフロンティアにおける

太陽光パネルリサイクル取組と脱炭素化支援

講師：前谷 忠仁 殿 ソーラーフロンティア株式会社
営業本部 東日本支店 支店長
鎌田 壘 殿 ソーラーフロンティア株式会社
PVリサイクル事業室 室長

2023年11月22日

テーマ：三菱ケミカルにおけるプラスチックリサイクルへの取組み

講師：赤羽 祥男 殿 三菱ケミカルグループ株式会社
サステナビリティ部
グリーントランスフォーメーション推進グループ
グループ長

2023年11月28日

テーマ：三井化学におけるカーボンニュートラルに向けた取組

講師：丸山 大輔 殿 三井化学株式会社
グリーンケミカル事業推進室 室長

2024年2月29日

テーマ：横須賀市におけるプラスチック資源一括回収への取り組み
講師：大野田徳高 殿 横須賀市 環境部 環境政策課 計画調査係長

2024年2月29日

テーマ：VOLTAにおけるリチウムイオン電池のリサイクル
講師：今井 健太 殿 株式会社VOLTA 代表取締役社長

2024年2月29日

テーマ：サーキュラーエコノミーの最新動向
講師：喜多川和典 殿 公益財団法人日本生産性本部
コンサルティング部
エコ・マネジメントセンター長

2024年3月8日

テーマ：成長志向型の資源自律経済戦略と今後の資源循環経済政策
講師：吉川 泰弘 殿 経済産業省 産業技術環境局
資源循環経済課 課長補佐（総括担当）

② 施設調査

2023年8月22日

株式会社プラニック御前崎工場
（国内最大級のプラスチック再生工場）

2023年10月24日

J&T 環境株式会社 仙台工場
（仙台市の製品プラスチックを含むプラスチックごみの再商品化）

2024年1月31日

日立造船株式会社 築港工場
（固体高分子型水電解装置（水素発生装置）及びメタネーションシステム）

2024年1月31日

マイクロ波化学株式会社 大阪事業所
（マイクロ波を用いた廃プラスチックのケミカルリサイクル）

2024年2月13日

フォーアールエナジー株式会社 浪江事業所
（使用済みEVバッテリーの再製品化工場）

エ. 二酸化炭素の回収及び利活用装置に関する調査研究

二酸化炭素の回収及び利活用装置の振興を目的として、関連施策に関する講演会を行った。

2023年11月10日

テーマ：GXに関する政府における検討状況
講師：和仁 一紘 殿 経済産業省 産業技術環境局
環境政策課 課長補佐

オ. エコスラグの標準化並びに利用普及の推進

廃棄物溶融施設で生産される溶融固化物（エコスラグ）の利用促進を目的に、エコ

スラグの標準化及び利用普及に関する活動を行った。なお、委員会の運営を効率化するため、組織体制の簡素化及び事業内容の合理化を検討しつつ活動を行った。

a. 標準化の推進

- ① JIS A 5031「コンクリート用溶融スラグ骨材」の原案作成協力団体からの移管要請を受け入れ、JIS A 5032「道路用溶融スラグ骨材」とともに維持管理を行うこととした。
- ② スラグ類の環境安全品質について、鉄鋼スラグ、非鉄スラグ及びフライアッシュの所管団体とともに、日本コンクリート工学会への委託研究を計画した。
- ③ JIS A 5308「レディーミクストコンクリート」、JIS A 5406「建築用コンクリートブロック」において、溶融スラグ使用に関する規定を追加するため、各原案作成団体への働きかけ及び交流を実施した。

b. 利用普及の推進

- ① 「エコスラグ有効利用の現状とデータ集（2022年度版）」を2023年5月に発行した。
- ② エコスラグに関する調査
香川県豊島の不法投棄物溶融スラグの有効利用に関し、現場視察を行うとともに、香川県とコンクリート構造物への利用促進に関する意見交換を行った。
- ③ 全国10か所の地方整備局において、リサイクルポート推進協議会主催の産業副産物等利用促進協議会に参加し、生産及び利用状況について説明を行い、利用先の開拓を図った。
- ④ 自治体に対するスラグ利用普及支援
 - i) 自治体連絡会及び施設見学会の開催
2023年10月に産官学の情報交換・共有及び施設見学を行った。
 - ii) 「自治体通信」の発行
年1回の「自治体通信」を2024年3月に発行し、有効利用の情報共有を行った。
- ⑤ 外部への情報発信
 - i) エコスラグ関連記事投稿
・産業機械 No. 872（2023. 6）

(4) 環境技術情報の発信

会員企業の環境技術や装置・機器に関する情報を系統的に取りまとめ、ウェブサイト上で広く提供した。

(5) シンポジウム、講演会及び施設調査等の実施

ア. 環境関連施策及び環境産業の動向に関する講演会

a. 2023年4月26日

テーマ：ネイチャーポジティブとビジネスに関する国内外の動向

講師：末續野百合 殿 環境省 自然環境局 自然環境計画課

生物多様性主流化室 室長補佐（総括）

イ. 環境関連施設調査

- a. 2023年9月7日
御笠川浄化センター
(下水処理場で発生する下水汚泥の有効活用事例として固形燃料化及び消化ガス発電事業)
- b. 2023年9月8日
ウォータープラザ北九州
(水循環システムの実規模運転を行う「デモプラント」及び下水・海水等の原水を用いて技術開発ができる「テストベッド」の運用実態)
- c. 2023年10月16日
空見スラッジリサイクルセンター
(大規模下水汚泥固形燃料化の取り組み)
- d. 2023年10月17日
イオンモール豊川
(オンサイト型バイオガス化システム等を活用した大型商業施設における「ZEB Ready」の取り組み)

(6) 関係行政機関及び関連団体への協力

- ア. 経済産業省への協力
3R推進協議会企画運営委員会に委員を派遣した。
- イ. 環境省への協力
環境技術実証事業運営委員会に委員を派遣した。
- ウ. 優良環境装置協議会への協力
優良環境装置協議会の実施する各種事業に協力した。
- エ. 関連団体への協力
一般社団法人産業環境管理協会、一般社団法人廃棄物資源循環学会、公益社団法人日本下水道協会、一般社団法人日本能率協会等が実施した事業に協力した。

5. タンク部会

(1) 役員改選

2023年7月7日の部会総会において、次のとおり選任した。

政策分科会長：山田 彰彦 月島 JFE アクアソリューション株式会社

常務執行役員 技術本部共通技術センター長 (新任)

(2) 統計調査の実施

機種別の受注台数の統計調査を行い、産業動向の調査を行った。

(3) 標準化の推進

JIS B 8501 (鋼製石油貯槽の構造) とこれらに関係する最新の API (米国石油協会)

規格との比較調査を行った。

(4) 調査研究の実施

代替エネルギー関係(燃料アンモニア、液体水素、メタネーション等)技術動向、タンク関連の災害対応技術及び関連法規等について情報収集を行った。

(5) 施設調査の実施

2023年10月5日に国内施設調査を開催した。

訪問先：神戸市水素コージェネレーション実証設備及び神戸港液体水素荷役基地。
(兵庫県神戸市)

(6) 講演会の実施

2023年6月7日に講演会を開催した。

テーマ：GX戦略 ―原子力関係を中心に―

講師：皆川 重治 殿 経済産業省 資源エネルギー庁 電力・ガス事業部
原子力政策課 原子力基盤室長

(7) 部会間の交流

2023年11月8日にボイラ・原動機部会と合同で情報交換会を開催した。

(8) 関係行政機関及び関連団体への協力

公益社団法人石油学会の設備維持規格委員会(屋外タンク)に委員を派遣し、調査・検討に協力した。

6. プラスチック機械部会

(1) 役員改選

2023年8月1日付けで次のとおり選任した。

部会長：江本 敦史 住友重機械工業株式会社 プラスチック機械事業部
事業部長(新任)

副部会長：林 栄介 株式会社神戸製鋼所 エネルギー・化学機械営業部
部長(新任)

副部会長：高次 聡 ファナック株式会社 常務執行役員 ロボマシン事業本部
事業本部長(新任)

(2) 統計調査の実施と分析

ア. 関連機械に関する統計調査を行い、産業動向を分析把握した。

イ. 射出成形機、押出成形機、ブロー成形機の3機種について、主要ユーザ業界及び海外主要国の市場動向を調査し、「プラスチック機械産業の市場動向調査報告書」を作

成し、公表した。

(3) 標準化の推進

ア. ISO/TC270（プラスチック加工機械及びゴム加工機械）の国内審議団体として、国際回答原案の作成及び国際会議への対応を協議した。

また、公益財団法人 JKA「2023 年度プラスチック・ゴム加工機械の国際競争力に資する標準化推進補助事業」を活用して、次の ISO/TC270 国際会議に参加した。

- a. 2023 年 4 月 26 日 ISO/TC270/WG2（押出機）第 3 回国際会議（オンライン会議）
- b. 2023 年 5 月 15 日 ISO/TC270/WG2（押出機）第 4 回国際会議（オンライン会議）
- c. 2023 年 10 月 11～12 日 ISO/TC270/WG2（押出機）第 5 回国際会議（於：イタリア／ミラノ）
- d. 2023 年 10 月 13 日 ISO/TC270 第 9 回総会（於：イタリア／ミラノ）
- e. 2023 年 10 月 31 日 ISO/TC270/WG2（押出機）AHG 第 1 回国際会議（オンライン会議）
- f. 2023 年 11 月 21 日 ISO/TC270/WG2（押出機）AHG 第 2 回国際会議（オンライン会議）
- g. 2023 年 12 月 5 日 ISO/TC270/WG2（押出機）AHG 第 3 回国際会議（オンライン会議）
- h. 2023 年 12 月 19 日 ISO/TC270/WG2（押出機）AHG 第 4 回国際会議（オンライン会議）
- i. 2024 年 1 月 16 日 ISO/TC270/WG2（押出機）AHG 第 5 回国際会議（オンライン会議）
- j. 2024 年 1 月 30 日 ISO/TC270/WG2（押出機）AHG 第 6 回国際会議（オンライン会議）
- k. 2024 年 2 月 13 日 ISO/TC270/WG2（押出機）AHG 第 7 回国際会議（オンライン会議）
- l. 2024 年 2 月 27 日 ISO/TC270/WG2（押出機）AHG 第 8 回国際会議（オンライン会議）
- m. 2024 年 3 月 26 日 ISO/TC270/WG2（押出機）AHG 第 9 回国際会議（オンライン会議）

イ. JIS B 8650（プラスチック加工機械－用語）の改正について検討した。

ウ. 射出成形機のエネルギー消費量の測定方法について検討した。

(4) 機械安全の推進

中国の射出成形機安全規格、マグネットクランプシステムに関する ISO 規格、EU のサイバーレジリエンス法など、安全法令・規格に係る海外の動きについて調査等を行い、対応を検討した。

(5) 関連情報収集等調査の実施

ア. プラスチック機械に関する米国、中国、及び欧州の特許情報について調査及び検討を行った。

イ. 射出成形機業界のサービス部門における課題解決のため、2023年10月17日に株式会社クボタの農業機械部門及びカスタマーソリューション管理部門の方を招いて、農業機械と射出成形機のアフターサービス・メンテナンスに関する意見交換を行った。

(6) 国際交流の推進

欧州プラスチック機械工業会 (EUROMAP) 及び米国プラスチック産業協会 (PLASTICS) と統計交換を実施した。

(7) 講演会、施設調査及び研修会等の実施

2023年9月21日に特許庁審査第三部（素材加工）の方を招いて、特許施策や出願状況の現状、射出成形機の特許に関する意見交換を実施した。

(8) 関係行政機関及び関連団体等との交流

経済産業省、特許庁、及び一般社団法人日本プラスチック機械工業会と交流を行った。

7. 風水力機械部会

(1) 役員改選

2023年7月20日に開催した部会総会において、次の通り選任した。

部会長：太田 晃志 株式会社荏原製作所 執行役 インフラカンパニー
プレジデント（新任）

幹事長：森 健一 株式会社荏原製作所 インフラカンパニー
企画管理部長（新任）

(2) 統計調査の実施と分析

関連機械に関する生産等の統計調査を行い、産業動向の分析を行った。

(3) 標準化の推進

- ア. ISO/TC115（ポンプ）の審議事項への回答及び改正案への投票に対応した。
- イ. ISO/TC117（送風機）及びISO/TC118（圧縮機）に関する通知内容を確認・検討した。
- ウ. JIS B 8341（容積形圧縮機—試験及び検査方法）の改正原案作成作業を継続した。

(4) 機械安全の推進

- ア. メカニカルシールの予備品を準備することの重要性を説明した資料である「メカニカルシール予備品準備のお勧め」を作成、公表した。
- イ. 水中ポンプを保管する際の注意事項についてまとめた資料である「設備用水中ポンプを長期保管（1年程度）するときの注意事項」を作成、公表した。

- ウ. 空調用送風機についてのリスクアセスメント資料の作成作業を継続した。
- エ. メカニカルシールの損傷事例とその原因や対策について解説した冊子である「メカニカルシールの損傷例と対策」の改訂作業を継続した。

(5) 風水力機械関連の情報提供

- ア. 高効率モータ、ポンプ、送風機等に関する最新情報を提供した。
- イ. ポンプ、送風機等に関する最新情報をメールマガジン等で提供した。
- ウ. ポンプ、送風機、圧縮機関連のJISについて、外部からの技術的な問い合わせに対応した。

(6) カーボンニュートラル政策への対応検討

政府が推進するカーボンニュートラル政策に対応していくため、代替燃料（水素、アンモニア）に関連する以下の施設調査を実施した。

株式会社 JERA 碧南火力発電所（2023年6月27日）

水素製品研究試験センター（2023年11月9日）

(7) 技術セミナー・講演会等の開催

次の技術セミナー等を開催した。

- ア. ポンプ技術者連盟 技術セミナー（2023年7月4日）
 - テーマ：フルモールド鋳造法によるポンプ製品製造
 - 講師：大庭 健二 殿 株式会社木村鋳造所 営業本部
 - テーマ：「JIS B 8301:2018 改正と問い合わせ内容について」
 - 講師：浦西 和夫 殿 八戸工業高等専門学校 名誉教授
- イ. メカニカルシール講習会（2023年7月7日）
 - テーマ：メカニカルシールの基礎
 - 講師：戎 篤志 殿 日本ジョン・クレーン株式会社 エンジニアリング部
EU Engineering課 課長
- ウ. 風水力機械部会 講演会（2023年11月22日）
 - テーマ：物流の2024年問題
 - 講師：大島 弘明 殿 株式会社NX 総合研究所 常務取締役
- エ. 送風機技術者連盟 技術セミナー（2023年9月14日）
 - テーマ：メカニカルシール他、シール一般技術について
 - 講師：寺川 和宏 殿 日本ピラー工業株式会社 技術本部 三田技術2部
部長
日名 純 殿 日本ピラー工業株式会社 技術本部 三田技術2部
新エネルギーグループ
 - テーマ：JIS B 8330（送風機の試験及び検査方法）ポイント解説
 - 講師：高津 恭 殿 送風機技術者連盟 顧問
- オ. メカニカルシール講習会（2023年11月24日）
 - テーマ：メカニカルシールの取り扱いと運転保守

講師：秋山 浩二 殿 イーグルブルグマンジャパン株式会社
執行役員副社長

カ．メカニカルシール講習会（2024年3月22日）

テーマ：メカニカルシールの損傷例と対策

講師：上田 誠 殿 日本ピラー工業株式会社 三田技術1部
MS技術グループ 課長

（8）関係省庁及び関連団体への協力

ア．国土交通省の要請に応じ、「公共建築工事標準仕様書 令和4年版」の改訂に協力した。

イ．国土交通省の要請に応じ、「建築設備設計基準 令和6年版」の改訂に協力した。

8. 運搬機械部会

（1）統計調査の実施と分析

関連機械に関する統計調査を行い、産業動向を分析把握した。

（2）標準化の推進

ア．JIS 規格への対応

a．シャトル台車式自動倉庫システム—設計通則、JIS B 8803（ベルトコンベヤ用ローラ）、JIS B 8941（立体自動倉庫システム - 用語）の原案を作成した。

b．JIS B 8825（仕分けコンベヤ）の改正案を検討した。

c．JIS B 0148（巻上機—用語）、JIS B 1168（アイボルト）、JIS B 2803（フック）、JIS B 8802（チェーンブロック）、JIS B 8805（ゴムベルトコンベヤの計算式）、JIS B 8806（クレーン用鋳鋼製車輪及び鍛鋼製車輪）、JIS B 8812（チェーンブロック用リンクチェーン）、JIS B 8814（ベルトコンベヤ用プーリ）、JIS B 8815（電気チェーンブロック）、JIS B 8816（巻上用チェーンスリング）の改正について検討した。

イ．ISO・IEC 等国際規格への対応

a．ISO/TC111（丸鋼製リンクチェーン、チェーンスリング、構成要素部品及び付属品）及びTC111/SC3（構成要素部品及び付属品）の議長を引き受けるとともに、国際幹事国としてTC及びSCの運営等を行った。

b．ISO/TC111国内審議団体として、吊り具の靱性評価方法に関する国際回答原案の作成及び国際会議への対応を行った。

（3）機械安全の推進

ア．「大規模倉庫における防火シャッター降下部のコンベヤに関するガイドライン」に沿って実施時の課題や解釈について検討した。

イ．「ラック式倉庫のスプリンクラー設備の解説書」について見直しを引き続き検討

した。

- ウ. 「立体自動倉庫 工事安全基準」の改訂版を引き続き作成した。
- エ. 立体自動倉庫の柵外からの操作についての指針作成を引き続き検討した。
- オ. 製品安全ラベルに関するガイドライン作成を引き続き検討した。
- カ. 物流システム機器ハンドブックについての改訂版作成を引き続き検討した。

(4) 海外動向調査の実施

アジア地域等に調査団を派遣し需要動向等の調査を実施する予定であったが、参加予定企業の調整がつかず中止とした。

(5) 展示会等の開催の推進

2023年9月13日～15日開催の「国際物流総合展2023 第3回 INNOVATION EXPO」（東京国際展示場）を共催した。

(6) 講演会及び研修会等の実施

ア. 講演会 2023年7月11日

演 題：「物流における2024年問題について」

講 師：金澤 匡晃 殿 株式会社N X総合研究所

リサーチ&コンサルティングユニット2

イ. 研修会

a. 2023年8月25日

岩手県八幡平市、「独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構 旧松尾鉱山新中和処理施設」を訪問し、酸性坑廃水の中和処理工程を視察した。

b. 2023年10月26日

愛知県犬山市、「村田機械株式会社 犬山事業所」を訪問し、無人搬送車、仕分けコンベヤ、シャトル台車式自動倉庫等の、最新の実機（デモンストレーション含め）を視察した。

c. 2023年11月10日

鳥取県日野郡、「サントリー天然水 奥大山ブナの森工場」を訪問し、天然水の生産工程（プリフォームのペットボトル成型・ボトリング、等）を視察した。

d. 2023年12月8日

長崎県長崎市、「軍艦島デジタルミュージアム及び軍艦島」を訪問し、明治日本の産業革命遺産のひとつとして、2015年7月に世界文化遺産登録をされた、三菱鉱業端島抗の、暮らしぶりの説明や、現存する建物等を視察した。

(7) 関係行政機関及び関連団体等との交流

経済産業省、関係省庁及び一般財団法人日本規格協会、一般社団法人日本電機工業会等関連団体との交流を行った。

9. 動力伝導装置部会

(1) 役員改選

2023年7月4日付けで次のとおり選任した。

部会長：荒木 達朗 住友重機械工業株式会社 取締役 常務執行役員
PTC 事業部長（再任）

副部会長：市原 英孝 富士変速機株式会社 代表取締役社長（再任）

(2) 統計調査の実施と分析

関連機械に関する統計調査を行い、産業動向を分析把握した。

(3) 関連情報収集等調査の実施

トップランナーモータ規制の動向、電線ケーブルやインバータの需給、RCEP協定の影響等について情報収集、調査等を行った。

(4) 国内外の需要の変化に関する調査の実施

動力伝導装置のユーザ業界の変化や求められる機能について調査した。

(5) 講演会、施設調査及び研修会等の実施

2024年2月14日～17日にタイへ調査団を派遣し、次の事業所を訪問した。

ア. UACJ (Thailand) Co., Ltd. を訪問し、缶材、エアコン用フィン材、自動車用熱交換器材、電気部品用資材（一般材）のアルミ製品製造ラインを見学するとともに、タイの市場動向、アルミニウム缶リサイクル事業、環境負荷低減策、工場操業の課題等について意見交換を行った。

イ. Tsubakimoto Automotive (Thailand) Co., Ltd. を訪問し、四輪自動車エンジン用タイミングドライブシステム部品の製造ラインを見学するとともに、タイの市場動向、品質管理、CSR/環境活動、工場操業の課題等について意見交換を行った。

(6) 関係行政機関及び関連団体等との交流

経済産業省との交流を行った。

10. 製鉄機械部会

(1) 統計調査の実施と分析

関連機械に関する統計調査を行い、産業動向を分析把握した。

(2) 関連情報収集等調査の実施

ア. 国内外の市場動向について情報収集、調査等を行った。

イ. 次世代人材育成に関する各社が抱える課題、対策・取組について意見交換、協議を行った。

新卒・キャリア採用、人材育成プログラム、モチベーションアップ、コミュニケーション、目標・人事考課など個別テーマごとに議論を実施した。

(3) 講演会、施設調査及び研修会等の実施

ア. 講演会

a. 2023年6月20日

テーマ：素形材産業を巡る最近の政策動向について

講師：飯沼 薫也 殿 経済産業省 製造産業局 素形材産業室
室長補佐

イ. 研修会

a. 2023年10月27日

入交石灰工業株式会社（高知県南国市）を訪問し、生石灰及び消石灰の製造工場を見学するとともに、石灰業界の市場動向・環境対応・技術開発、製鉄業との関連について意見交換を行った。

(4) 関係行政機関及び関連団体等との交流

経済産業省及び一般社団法人日本工業炉協会会員企業との交流を行った。

11. 業務用洗濯機部会

(1) 役員改選

2022年5月19日の部会総会において、次のとおり選任した。

部会長：武知 教之 アイナックス稲本株式会社 代表取締役 会長執行役員（新任）

(2) 統計調査の実施

機種別、容量別の出荷台数の統計調査を行い、産業動向の把握を行った。

(3) 調査研究の実施

ア. 環境、安全、衛生、省人化及び省エネルギー対策技術について最新情報を収集し、対応策を検討した。

イ. 製品の取扱いの際の危険性の記載の統一に向け、「取り扱いの際の危険性を喚起するガイドライン」を2023年7月に発行した。

ウ. 2012年5月に発行した「関連法令に基づく届出書類一覧」を見直した。

エ. リネンサプライ工場に対する補助制度創設に向けて検討を行った。

a. リネンサプライ工場のモデル仕様を設定し、2013年度と2022年度におけるCO₂排出量及び省エネ効果を算出し、両者を比較検討した。

- b. 環境共創イニシアチブ（SII）に対して、リネンサプライ工場の省エネ設備の補助制度について意見交換を実施した。
 - c. 制度化に向け業務用洗濯機械の定義、分類、区分けについて検討を開始した。
- オ. 耐用年数の短縮について、関係団体（一般社団法人日本病院寝具協会、一般社団法人日本リネンサプライ協会）に継続して働きを行った。

（４）関連分野の動向調査

国内、海外市場の動向を調査し、各社が独自調査した展示会情報（タイ、中国）から市場動向、技術動向を共有した。

（５）施設調査の実施

コインランドリー分科会において、三浦工業株式会社松山本社工場、北条工場を訪問し、本社ショールーム、汎用ボイラ製造ライン、制御基板内製化ラインを見学した。

（６）海外調査の実施

直近の業務用洗濯機械の海外展示会の開催予定を調査し、全日本クリーニング機械連合会との海外合同調査について検討を開始した。

（７）関連団体等との協力

- クリーニング市場発展のため関連団体と情報交換を実施した。
- ア. 2023年11月に日本クリーニング用洗剤同業界と技術交流会に参加した。
 - イ. 一般社団法人日本病院寝具協会、一般社団法人日本リネンサプライ協会へ理事を遣し、ユーザ団体の動向調査及び意見交換を行った。
 - ウ. 2024年2月に「クリーニング産業総合展2024」の出展協力及び会員企業個社でブース出展を行った。

12. エンジニアリング部会

（１）役員選任

2023年6月15日の部会総会において、次のとおり選任した。

企画委員長：石川 一郎 千代田化工建設株式会社 営業本部
営業業務部長（新任）

※最上 由章 千代田化工建設株式会社 営業本部
営業業務セクションSL

（2023年9月12日付交代）

（２）調査研究の実施

水素検討委員会において、各社のカーボンニュートラル関係の取り組みについて、情

報交換を行った。

(3) 施設調査の実施

2023年12月5日に清水建設株式会社 技術研究所を訪問し、技術研究所の概要紹介・広報ツアー及びVR-Commons デモ体験、視察を行った。

(4) 講演会の実施

2023年12月5日に次のとおり講演会を開催した。

テーマ1：バーチャルリアリティーの過去・現在・未来

テーマ2：VR-Commons 紹介とその可能性について

講師：濱本 和彦 殿 東海大学 情報理工学部情報メディア学科 教授

(5) PCI/LF 委員会への協力

2005年度より PCI (プラントコストインデックス) /LF (ロケーションファクター) 委員会 (日本機械輸出組合主催) の調査研究に参加し、2023年度版の PCI (プラントコストインデックス) /LF (ロケーションファクター) 報告書の作成に協力した。

Ⅲ 委員会関係

1. 政策委員会

(1) 役員改選

役員改選期に伴い、第 540 回（2023 年 4 月 19 日）の委員会において、次のとおり選任した。

委員長：二瓶 清 株式会社 I H I 執行役員（再任）

副委員長：浜本 博之 三菱重工業株式会社 プラント・インフラドメイン
企画管理部長（再任）

第 545 回（2023 年 12 月 13 日）委員会において、次の通り選任した。

副委員長：山田 理晃 三菱重工業株式会社 プラント・インフラドメイン
企画管理部長（新任）

第 547 回（2024 年 3 月 21 日）委員会において、次の通り選任した。

委員長：田畑正太郎 株式会社 I H I 執行役員
産業システム・汎用機械事業領域 副事業領域長（新任）

(2) 委員会

2023年度は8回開催し、当工業会の事業運営事項について企画・立案・審議すると共に、法務問題や税制のあり方等について審議し、理事会等へ上程した。

なお、開催状況は次のとおり。

ア. 第 540 回（2023 年 4 月 19 日）

a. 講演

テーマ：半導体戦略の現状と今後

講師：新沼 祐 殿 経済産業省 商務情報政策局 情報産業課
デバイス半導体戦略室 課長補佐

b. 2022 年度事業報告（案）

c. 2022 年度決算報告（案）

d. 決議（案）

e. 2023 年度産業機械工業功績者表彰候補者（案）

f. 役員の改選

イ. 第 541 回（2023 年 6 月 20 日）

a. 講演

テーマ：水素社会の実現およびサプライチェーン構築に向けた政策動向

講師：安達 知彦 殿 殿 経済産業省 資源エネルギー庁
省エネルギー・新エネルギー部
新エネルギーシステム課
水素・燃料電池戦略室長

ウ. 第 542 回（2023 年 7 月 19 日）

- a. 講演
 テーマ：VUCA(予測困難な)時代の危機管理 台湾有事のBCP(人的被害の回避)
 講師：浅野 竜一 殿 株式会社 ZOAS 代表取締役
- エ. 第 543 回 (2023 年 9 月 13 日)
 - a. 令和 6 年度税制改正要望 (案)
- オ. 第 544 回 (2023 年 10 月 18 日)
 - a. 講演
 テーマ：「物流の 2024 年問題」への対応について
 講師：大西 智代 殿 経済産業省 商務情報政策局
 商務・サービスグループ 物流企画室 室長補佐
 - b. 関西大会における提言 (案)
 - c. 2023 年度海外貿易会議
- カ. 第 545 回 (2023 年 12 月 13 日)
 - a. 講演
 テーマ：海外進出日系企業の経営実態 景況感はさらに悪化、グローバルサウスの主要国には明るい兆し
 講師：伊藤 博敏 殿 日本貿易振興機構 (JETRO) 調査部 国際経済課
 課長
 - b. 「環境活動基本計画」フォローアップ調査実施報告
 - c. 低炭素社会実行計画 2030 年度目標の見直し
 - d. 副委員長の選出
- キ. 第 546 回 (2024 年 2 月 21 日)
 - a. 講演
 テーマ：ダイキン工業における DX 推進と人材育成の取り組み
 講師：廣瀬 忠史 殿 ダイキン工業株式会社 DX 戦略推進準備室
 担当部長
 - b. 2024 年度政策委員会事業計画 (案)
- ク. 第 547 回 (2024 年 3 月 21 日)
 - a. 講演
 テーマ：省エネルギー政策について
 講師：木村 鴻志 殿 経済産業省 資源エネルギー庁
 省エネルギー・新エネルギー部
 省エネルギー課 課長補佐
 - b. 2024 年度産業機械の受注見通し (案)
 - c. 2024 年度事業計画 (案)
 - d. 2024 年度収支予算 (案)
 - e. 委員長の選任
 - f. 協力企業との適正取引の推進に向けた行動計画の改定

(3) 税制小委員会

2024年度税制改正にあたり、会員からの要望・意見を集約、検討して、政策委員会に上程した。

2. 労務委員会

(1) 委員会

雇用、賃金、関係法令等の労働情勢を確認し、労使協調を基盤とした労務対策の研究及び推進を図ることを目的に、2023年度は次のとおり4回開催した。

ア. 2023年7月度委員会（2023年7月26日）

- a. 2023年度賃金・夏季賞与交渉状況
- b. 労務管理関係
 - ① 育児休業の取得状況と育児休業中の昇格・評価の取り扱い
 - ② 転勤にかかる処遇
 - ③ 「建設業の2024年問題」への取り組み状況
 - ④ 海外勤務者の一時帰国の取り扱い
 - ⑤ 大規模災害時の安否確認
 - ⑥ 採用状況、採用手法
 - ⑦ 社内コミュニケーションの活性化策
 - ⑧ 新幹線通勤に対する補助の有無／条件

イ. 2023年10月度委員会（2023年10月25日）

- a. 2023年度年末賞与交渉状況
- b. 2024年度新規採用状況
- c. 労務管理関係
 - ① 現場工事従事者に対する手当の有無
 - ② 文系学生への企業PRや接点の持ち方
 - ③ 長期インターンシップに参加した学生のエントリー率・採用率
 - ④ 通勤時または業務中の自転車利用について
 - ⑤ 働き方や給与に係わる各種制度の見直し
 - ⑥ 家族手当の支給有無と支給内容
 - ⑦ 男性育児休業の取得率向上のために取組まれていること
 - ⑧ DX人材教育
- d. 新型コロナウイルス関係

ウ. 2023年12月度委員会（2023年12月6日）

- a. 2023年度年末賞与交渉状況
- b. 労務管理関係
 - ① 旅費規程・法定外労災等の直近見直し時期
 - ② 部長級の社内交流

- ③ 独身寮の取扱い
- ④ 人事評価のフィードバック
- ⑤ 長時間残業対策
- ⑥ 副業の事例
- ⑦ 海外駐在員への自動車の貸与

エ. 2024年3月度委員会（2024年3月19日）

- a. 2024年度賃金・夏季賞与交渉状況
- b. 2024年度入社の新任給について
- c. 労務管理関係
 - ① 定年制の廃止やそれに伴う施策の取り組み
 - ② 人権啓発・ハラスメント対策
 - ③ 36協定の特別事項における上限時間やみなし労働
 - ④ 海外トレーニー制度等の実施について
 - ⑤ 賃金のデジタル払い導入
 - ⑥ 女性活躍にかかる各社の取り組み

（2）労働・雇用状況等の調査

労働、雇用に関する調査を行った。

- ア. 2023年度賃金交渉状況調査
- イ. 2023年度夏季賞与交渉状況調査
- ウ. 2023年度年末賞与交渉状況調査
- エ. 一般社団法人日本経済団体連合会への調査協力
 - a. 2023年度福利厚生費調査
 - b. 業種別賃金・労務厚生等調査

3. 貿易委員会

（1）産業機械貿易振興事業

ア. ジェトロ・ウィーン及びシカゴ事務所に当工業会の担当窓口を設置し、産業機械に関する市場調査、各種情報収集、引合・斡旋及び広報活動等を実施した。

ウィーン担当：佐藤 龍彦

シカゴ担当：川崎 健彦

イ. 北米、欧州地域、中近東諸国、アフリカ諸国における産業機械関連の調査を実施した。調査内容は、毎月「海外情報」に取りまとめ、会員等関係者への配布及びウェブサイトでの情報提供を行った。

ウ. 産業機械の海外市場拡大のための市場環境及びわが国並びに関係諸外国の貿易政策等の情報収集を行い、会員企業の海外活動を支援した。

(2) 産業機械の国際競争力強化に関する調査研究事業の推進

ア. 海外市場等に関する調査

地理的優位性、安定した治安等を背景に製造拠点として世界から注目されているモロッコの貿易動向、投資動向、産業、進出日系企業の動向等に関する調査を行った。また、脱炭素化に向けた取り組みが活発なスペインにおける再生可能エネルギー導入状況等に関する調査を行った。

イ. 経済連携協定等に関する動向調査

環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定 (CPTPP)、インド太平洋経済枠組み (IPEF) 等に関する動向について情報収集を行った。

ウ. 会員の海外展開に関する情報収集

産業機械業界における海外事業の支援を図るため、会員企業の海外展開に関する情報収集を行った。

(3) 海外貿易会議への協力

経済産業省主催の海外貿易会議（産業機械）の幹事団体として、海外貿易会議（2023年9月30日～10月9日）のモロッコ、スペインでの開催に際し、内外関連諸機関と協力しつつ、議案・運営方法等の策定及び会議の円滑な運営等に協力を行った。

(4) 講演会の開催

ア. 2023年8月7日

テーマ：インドのビジネス環境と機会

講師：北村 寛之 殿 独立行政法人日本貿易振興機構 フロンティア開拓課
課長代理

イ. 2023年11月29日

テーマ：EU 国境炭素調整メカニズム導入に関する動向と日本産業界への影響

講師：浅田 英昭 殿 日本機械輸出組合 ブラッセル事務所 次長

ウ. 2024年3月21日

テーマ：中国経済の現状と日本企業の動向

講師：河野 円洋 殿 独立行政法人日本貿易振興機構 北京事務所
経済情報部長

(5) 関係行政機関及び関連団体への協力、連携

ア. 各種調査情報を経済産業省、独立行政法人日本貿易振興機構等関連機関へ提供すると共に、産業機械産業の健全な貿易発展のための連携を図った。

イ. 海外からの引合・斡旋等を行い、円滑な貿易の遂行に協力した。

4. 編集広報委員会

(1) 委員会

2023年度は次のとおり2回の委員会を開催し、以下の事項について審議を行った。

ア. 2023年度第1回(2023年7月24日)

- a. 月刊機関誌「産業機械」2023年1~6月号の経過報告
- b. 月刊機関誌「産業機械」2023年7~12月号会員トピックス・コラムアンケート結果
- c. 月刊機関誌「産業機械」2023年7月号特集
- d. 月刊機関誌「産業機械」2023年12月号 その他特集
- e. 月刊機関誌「産業機械」2024年の編集方針

イ. 2023年度第2回(2023年12月1日)

- a. 月刊機関誌「産業機械」2023年7~12月号会員トピックス・コラム掲載報告
- b. 月刊機関誌「産業機械」2023年12月号その他特集の報告
- c. 月刊機関誌「産業機械」2023年12月号特別企画座談会の報告
- d. 月刊機関誌「産業機械」2024年1~6月号会員トピックス・コラムアンケート結果

(2) 施設見学会(2023年10月11日)

次の施設見学会を開催した。

- a. 中間貯蔵工事情報センター(福島県双葉郡大熊町)
除染作業により発生した土壌等を処分するまで貯蔵している中間貯蔵施設の概要、安全への取組み等について説明を受けた。
- b. 双葉町仮設灰処理施設(福島県双葉郡双葉町)
中間貯蔵施設内に保管されている可燃性廃棄物及び特定復興再生拠点事業から発生する、廃棄物等の減容化を行う回転式表面熔融炉を見学した。

5. 産業機械工業規格等調査委員会

次のとおり委員会を開催した。

- ア. 2023年9月4日に、2023年度上期における機種別部会のISO、JIS、JIMS関連の活動状況及び関連法規、規格等への対応状況について報告及び確認を行った。
- イ. 2024年3月4日に、2023年度下期における機種別部会のISO、JIS、JIMS関連の活動状況及び関連法規、規格等への対応状況について報告及び確認を行った。

6. 産業機械工業功績者表彰選考委員会

2023年4月6日に委員会を開催し、会員企業の役員または職員のうち産業機械工業の発展に特に貢献された功績者9名を表彰候補者として選出し、理事会(書面)(2023年4

月 26 日) へ上程した。

7. 環境委員会

(1) 役員改選

第94回委員会 (2024年3月26日) において、次の通り選任した (2024年4月1日付)。

委員長：佐藤 裕子 三菱重工業株式会社 シニアフェロー
技術戦略推進室長 (新任)

副委員長：松尾 芳憲 三菱重工業株式会社 バリューチェーン本部
バリューチェーン革新部 環境企画グループ
グループ長 (新任)

(2) 委員会

ア. 第92回委員会 (2023年6月21日)

2023年度定例調査 (VOC大気排出実績調査、環境活動基本計画フォローアップ調査)、
低炭素社会実行計画の2030年度目標見直しアンケートの実施及び「環境活動報告書
2023」の内容等について審議を行った。

イ. 第93回委員会 (2023年12月11日)

2023年度定例調査 (VOC大気排出実績調査、環境活動基本計画フォローアップ調査)、
低炭素社会実行計画の2030年度目標見直しアンケートの結果について報告するとと
もに、「産業機械工業の低炭素社会実行計画」2030年度CO₂排出量の削減目標の見直し
(案) について審議を行った。

ウ. 第94回委員会 (2024年3月26日)

2023年度事業報告 (案)、2024年度事業計画 (案)、委員長・副委員長の選任につい
て審議した。

(3) ワーキンググループの活動

ア. VOC自主管理ワーキンググループ

「VOC排出実態調査」を実施し、調査結果の集計・評価を行い、当工業会のVOC自主
管理のあり方について検討した。

イ. 環境活動基本計画フォローアップワーキンググループ

「産業機械工業の環境活動基本計画」定例調査について、集計・評価等を行った。

また、「産業機械工業の低炭素社会実行計画」2030年度目標の見直しについて検討
を行った。

ウ. 環境活動報告書作成ワーキンググループ

「2023年度環境活動報告書」の構成の検討、取材、報告書案の作成等を行った。

(4) 内外動向の調査研究

ア. 定例調査等の実施

産業機械工業における環境保全対策の動向を把握する目的から、「産業機械工業の環境活動基本計画」2023年度定例調査及び、「VOC大気排出実績調査」2023年度調査を実施すると共に、各集計結果を会員、関係省庁及び関連団体に報告した。

イ. 施設調査等の実施

2023年11月9日に東京スーパーエコタウン（バイオエナジー株式会社、株式会社タケエイ東京エコタウン工場）を視察するとともに、バイオガス発電や建設系産業廃棄物のリサイクル等を取り巻く事業環境の変化について、意見交換を行った。

(5) 関係行政機関及び関連団体への協力

ア. 経済産業省

産業構造審議会産業技術環境分科会地球環境小委員会電子・電機・産業機械等ワーキンググループ（2023年12月11日）において、「産業機械工業の環境活動基本計画」定例調査結果に基づき報告した。

イ. 一般社団法人日本経済団体連合会

低炭素社会実行計画・循環型社会形成自主行動計画の2022年度フォローアップ調査について、「産業機械工業の環境活動基本計画」定例調査結果に基づき回答した。

(6) 報告書等のとりまとめと情報提供

委員会活動において、「2023年環境活動報告書」を始めとする各種報告書を取りまとめ関係機関へ提出する等、情報提供に努めた。

IV 関西支部関係

本部と緊密な連携を図り、機種別部会及び政策委員会、労務委員会を随時開催して、関係省庁はもとより関連団体と連携しつつ、次の事業を実施した。

1. ボイラ・原動機部会

(1) 講演会の開催

2023年9月1日

テーマ：最近の近畿経済の動向について

講師：中島 泰子 殿 経済産業省 近畿経済産業局 総務企画部
企画調査課長

(2) 施設調査の実施

ア. 2023年6月2日に中伊豆ワイナリーシャトーT.S（静岡県伊豆市）を訪問し、ワイナリー等の施設を見学した

イ. 2023年7月7日に大阪ガス株式会社 カーボンニュートラルリサーチハブ（大阪市此花区）を訪問し、概要説明を受けた後、「SOECメタネーション」、「水素製造・ケミカルルーピング燃焼」、「アンモニア利用・アンモニアエンジン」、「バーチャルパワープラントVPP」に関する研究施設等を視察した。

ウ. 2023年10月12日に、軍艦島デジタルミュージアム（長崎県長崎市）を訪問し、明治日本の経済成長を支えた軍艦島の産業や歴史について知見を深めた。また、三菱重工業株式会社長崎造船所「長崎工場」（長崎県長崎市）を訪問し、同工場の歴史や現在の操業状況について説明を受けた後、占勝閣、立神造船工場、史料館、ジャイアント・カンチレバークレーンを見学した。

(3) 東西合同会議

2023年10月12日に長崎県長崎市で開催し、2023年度事業計画及びスケジュールについて報告及び検討を行った。

2. 化学機械部会

(1) 講演会の開催

ア. 2023年9月14日

a. テーマ：関西蓄電池人材育成等コンソーシアム

講師：辻 敦士 殿 経済産業省 近畿経済産業局 製造産業課長

b. テーマ：クモノスコーポレーション株式会社の概要説明

講師：中庭 和秀 殿 クモノスコーポレーション株式会社 代表取締役

(2) 施設調査の実施

2023年9月14日にクモノスコーポレーション株式会社(大阪府箕面市)を訪問し、3次元レーザースキャナを活用した構築物や地形の計測サービス事業に加え、スキャナの

データを加工して得られる3D点群データにより現実世界を仮想的に再現するデジタルツインの説明が行われた。

3. 環境装置部会

(1) 役員改選

2023年7月13日に次のとおり選任した。

副部会長：井上 智裕 株式会社ササクラ 執行役員 水処理事業部長（新任）

(2) 講演会の開催

2023年7月13日に次のとおり開催した。（政策委員会と共催）

テーマ：プラスチック資源循環促進法の制定をはじめとする最近の動向一

講師：水谷 努 殿 環境省 環境再生・資源循環局 総務課

（前）リサイクル推進室長・循環型社会推進室長

(3) 施設調査の実施

2023年10月19日に大森淡水うなぎの里（宮崎県宮崎市）を訪問し、うなぎの陸上養殖施設及び加工・出荷場を見学するとともに意見交換を行った。また、シェラトン・グランデ・オーシャンリゾート（宮崎県宮崎市）を訪問し、発電施設及びボイラ施設を見学するとともに意見交換を行った。

4. 風水力機械部会

(1) 講演会の開催

2023年9月6日に次のとおり開催した。

テーマ：大阪府における空の移動革命社会実装に向けて

講師：貞末 和子 殿 大阪府 商工労働部 成長産業振興室 産業創造課
参事

5. 運搬機械部会巻上機委員会繊維スリング分科会

(1) 役員改選

役員改選期に伴い、2023年5月29日に次のとおり選任した。

分科会長：丸山 勝弘 東レインターナショナル株式会社

産業資材部 部長（新任）

副分科会長：津田 和則 象印チェンブロック株式会社 専務取締役（再任）

(2) 講演会の開催

2023年5月29日に次のとおり開催した。

テーマ：関西蓄電池人材育成等コンソーシアム

講師：辻 敦士 殿 近畿経済産業局 産業部 製造産業課 課長

(3) 施設調査の実施

2023年10月27日に兵神装備株式会社滋賀事業所（滋賀県長浜市）を訪問し、会社の歴史、モノポンプ等の原理、構造、用途等について説明を受けるとともに、プロダクト

スクエア（製品ショールーム）等を見学した。

6. 政策委員会

関西支部運営の中核として年 8 回開催し、運営幹事会で報告されている毎月の産業機械の統計関係、当工業会の活動状況、海外駐在員の近況報告や講演内容の報告の他、意見交換等を行った。

(1) 委員会

ア. 第 555 回（2023 年 4 月 27 日）

- a. 常任幹事・幹事補充選任
- b. 委員長の選出
- c. 新入会員
- d. 2022 年度事業報告（案）及び 2022 年度決算報告（案）
- e. 決議（案）
- f. 2023 年度産業機械工業功績者表彰候補者（案）

イ. 第 556 回（2023 年 6 月 30 日）

- a. 講演
テーマ：日本経済の抱える課題と産業政策のあり方
講師：中沢 則夫 殿 一般社団法人うめきた未来イノベーション機構
(U-FINO) 理事長

b. 常任幹事補充選任

c. 部会長の選出

ウ. 第 557 回（2023 年 7 月 27 日）

- a. 常任幹事・幹事補充選任
- b. 部会長の選出

エ. 第 558 回（2023 年 9 月 26 日）

- a. 部会長の選出
- b. 令和 6 年度税制改正要望（案）

オ. 第 559 回（2023 年 10 月 26 日）

- a. 講演
テーマ：2023 年度関西地域設備投資計画調査について
講師：荒井 誠 殿 株式会社日本政策投資銀行 関西支店 企画調査課長
- b. 2023 年度海外貿易会議

カ. 第 560 回（2023 年 12 月 20 日）

- a. 新入会員
- b. 「環境活動計画」フォローアップ調査実施報告
- c. 低炭素社会実行計画 2030 年目標の見直し

キ. 第 561 回（2024 年 2 月 28 日）

a. 幹事補充選任

ク. 第 562 回（2024 年 3 月 28 日）

- a. 2024 年度産業機械の受注見通し（案）
- b. 2024 年度事業計画（案）
- c. 2024 年度収支予算（案）
- d. 委員長の選出
- e. 協力企業との適正取引の推進に向けた行動計画（案）

(2) 講演会

2023 年 7 月 13 日（環境装置部会との共催）

テーマ：プラスチック資源循環促進法の制定をはじめとする最近の動向

講師：水谷 努 殿 環境省 環境再生・資源循環局 総務課
(前) リサイクル推進室長・循環型社会推進室長

7. 労務委員会

労務問題は、人事評価制度、定年制、退職金、福利厚生等多岐に亘っており、これら労務対策の研究及び推進を図るため講演会、意見交換等を行った。

(1) 講演会の開催

2023年6月9日に次のとおり開催した。

テーマ：就職活動をめぐる大学と学生の変化～その傾向と対策～

講師：家島 明彦 殿 大阪大学 キャリアセンター 副センター長 准教授

(2) 施設調査の実施

2023年11月30日に川村義肢株式会社(大阪府大東市)を訪問し、会社概要、義肢、装具に関する説明を受けた後、製造工場及び歴史展示室を見学するとともに、手押し、手動、電動、スポーツ用 等の車椅子の試乗体験を行った。

(3) 意見交換会

2024年3月7日に「従業員エンゲージメント向上への取組について」をテーマとして開催し、次の事項について報告及び意見交換を行った。

- a. 従業員の働き甲斐を高める取組について
- b. 社内コミュニケーション円滑化への取組について
- c. 社内におけるリスクリングへの取組について

8. 新年賀詞交歓会等会員相互等の交流機会の提供

(1) 関西大会懇親会

リーガロイヤルホテルにおいて2023年11月20日の関西大会終了後に開催した。

(2) 新年賀詞交歓会

リーガロイヤルホテルにおいて2024年1月12日に開催した。

9. 各種調査への協力

一般社団法人日本機械工業連合会大阪事務所が実施した関西団体協議会に出席し、活動方針の意見交換や施設調査等を行った。

V 共通基盤事業関係

1. 決議及び提言の取りまとめ

次の政策提言を関係省庁等に対して提出した。

- (1) 決議（定時総会2023年5月）
- (2) 日本経済の力強さを取り戻していくために（関西大会政策提言）〔関西大会（第607回理事会、第105回運営幹事会及び関西地区会員との合同会議）2023年11月〕

2. 統計調査の実施と統計情報の提供

次の項目について、月次調査及び集計を実施した。集計結果は、理事会での報告と会員への提供を行うと共に、関係省庁、関連団体、報道機関等に配布した。また、暦年・年度及び需要部門毎の資料整備と分析を行い、当工業会の基礎的統計資料の整備に努めた。

- (1) 産業機械受注状況
（自主統計、月次・年度上期・暦年・年度末毎、機種別・需要部門別集計）
- (2) 産業機械輸出契約状況
（自主統計、月次・年度上期・暦年・年度末毎、機種別・地域別集計）
- (3) 環境装置受注状況
（自主統計、月次・年度上期・暦年・年度末毎、機種別・需要部門別集計）
- (4) 産業機械輸出入実績
（財務省貿易統計ベース、月次毎、機種別・需要部門別集計）
- (5) 2023年度産業機械の受注見通し（2023年3月30日公表）

3. 適正取引の推進に向けた行動計画に関する取組

- (1) 自主行動計画のフォローアップ指針における調査の実施
中小企業庁が定める業種横断的な「フォローアップ指針」を踏まえ、『「未来志向型の取引慣行に向けて」に係る自主行動計画のフォローアップ指針における調査』として2023年11月に実施した。調査結果は2023年11月に中小企業庁へ報告すると共に、会員各社と情報共有を図った。
- (2) 「協力企業との適正取引の推進に向けた行動計画」の改定

経済産業省からの要請を受け、当工業会の行動計画を2024年3月29日に改定した。

4. 優秀環境装置表彰等表彰事業の実施

環境装置メーカー等が開発した優秀な装置の普及と技術開発の促進を目的に、1974年度から通商産業省（現経済産業省）の後援のもと、優秀環境装置の表彰事業を実施している。賞の種類は、経済産業大臣賞、経済産業省産業技術環境局長賞、中小企業庁長官賞、一般社団法人日本産業機械工業会会長賞であり、その他受賞装置の開発に携わった主たる開発者に対し、当工業会会長より表彰を行っている。

2023年度は、本表彰事業が第50回の節目を迎えるに当たり、大きな環境課題の一つである脱炭素化の促進に寄与することを目的として表彰の対象など、事業内容見直しの検討を行った。

なお、2022年度事業（第49回）において優秀と評価された環境装置について、2023年7月28日に表彰式を行った。

また、経済産業大臣賞、経済産業省産業技術環境局長賞、中小企業庁長官賞を受賞した装置の研究・開発に携った主たる開発者について、計17名を一般社団法人日本産業機械工業会会長が表彰した。

表彰対象装置及び受賞者は次のとおり。

(1) 経済産業大臣賞

装置名：脱水乾燥システム

受賞者：月島アクアソリューション株式会社（共同申請）
日本下水道事業団（共同申請）

(2) 経済産業省産業技術環境局長賞

装置名：下水汚泥固形燃料化システム（ジェイコンビシステム）

受賞者：日鉄エンジニアリング株式会社

(3) 中小企業庁長官賞

装置名：ヒータ式排ガス処理装置

受賞者：クリーン・テクノロジー株式会社

(4) 日本産業機械工業会会長賞（応募申請書受付順）

装置名：フレキシブル排水処理設備（ハイドロヴァンガード）

受賞者：株式会社水循環エンジニアリング

装置名：省電力送風装置（流動タービン）を用いた下水汚泥焼却設備

受賞者：愛知県（共同申請）

日本下水道事業団（共同申請）

メタウォーター株式会社（共同申請）
株式会社クボタ（共同申請）

装置名：タール燃料を利用した排ガス処理装置
受賞者：日工株式会社（共同申請）
三機工業株式会社（共同申請）

装置名：排水処理システム（AIS：アイエンス・イノベティヴ・システム）
受賞者：株式会社アイエンス

5. 中小企業等経営強化法の経営力向上設備等に関する税制措置への対応

中小企業等経営強化法の経営力向上設備等に関する税制措置について、設備メーカ（製造事業者等）からの申請に基づき、生産性向上に係る該当要件を確認し、「証明書」を発行した。

6. 月刊機関誌「産業機械」の発行と関連情報の提供

(1) 月刊機関誌「産業機械」の発行

2023年は「世界をグリーンに！サステナブルな社会を実現する産業機械」を、2024年は「知能化・自律化・多様化に対応する産業機械」を年間テーマに掲げ、会員各社の新製品・新技術の紹介を中心に、各種統計資料、当工業会の情報を編集し、発行した。

なお、特集号及び紹介号は次のとおりである。

- 2023年 4月号 (No. 870) プラスチック機械
 - 2023年 5月号 (No. 871) 環境装置①
 - 2023年 6月号 (No. 872) 環境装置②ーエコスラグー
 - 2023年 7月号 (No. 873) 世界をグリーンにする日本産業機械工業会の技術と取り組み
 - 2023年 8月号 (No. 874) 風水力機械
 - 2023年 9月号 (No. 875) ボイラ
 - 2023年 10月号 (No. 876) 優秀環境装置
 - 2023年 11月号 (No. 877) 化学機械・タンク
 - 2023年 12月号 (No. 878) 業務用洗濯機
- 年間テーマを振り返って
特別企画座談会：産業機械業界の「技術の伝承」今とこれから
- 2024年 1月号 (No. 879) 経済産業省 製造産業局長、会長、支部長、委員長、

部会長年頭所感、

特別対談「伊吹製造産業局長・斎藤会長」

2024年 2月号 (No. 880) 鋳山機械・製鉄機械

2024年 3月号 (No. 881) 運搬機械・動力伝導装置

(2) ウェブサイトの運営及び掲載内容の検討

会員の紹介、当工業会活動内容及び各種事業の開示を目的に、ウェブサイト (<https://www.jsim.or.jp/>) の管理・運営を行った。

VI 共通基盤活動関係

1. 総会、理事会、正副会長会議等会議の運営

(1) 定時総会

2023年5月25日、The Okura TOKYOにおいて開催し、次の議案をいずれも満場一致をもって原案のとおり承認した。

- ア. 2022年度事業報告承認の件
- イ. 2022年度決算報告承認の件
- ウ. 2023年度事業計画決定の件
- エ. 2023年度収支予算決定の件
- オ. 決議の件
- キ. 役員補充選任の件

(2) 理事会

2023年度に次の通り9回開催し、各議案について審議を行った。

- ア. 理事会（書面審議）（2023年4月26日）
 - a. 2022年度事業報告（案）
 - b. 2022年度決算報告（案）
 - c. 2023年度収支予算修正
 - d. 常任幹事・幹事補充選任
 - e. 新入会員
 - f. 2023年度（公財）JKA補助事業の実施
 - g. 2023年度産業機械工業功績者表彰候補者
 - h. 2023年度定時総会の招集
- イ. 第606回理事会（2023年5月25日）
 - a. 役員補充選任
 - b. 2022年度下期工業会活動状況
- ウ. 理事会（書面審議）（2023年7月3日）
 - a. 常任幹事補充選任
- エ. 理事会（書面審議）（2023年7月26日）
 - a. 常任幹事・幹事補充選任
- オ. 理事会（書面審議）（2023年9月26日）
 - a. 令和6年度税制改正に関する産業機械業界の要望（案）
- カ. 第607回理事会（2023年11月20日）
 - a. 政策提言－日本経済の力強さを取り戻していくために（案）
 - b. 2023年度上期工業会活動状況
- キ. 理事会（書面審議）（2023年12月20日）
 - a. 新入会員

- b. 産業機械工業の低炭素社会実行計画
- ク. 理事会（書面審議）（2024年2月27日）
 - a. 幹事補充選任
 - b. 関連規程等の整備（案）
- ケ. 理事会（書面審議）（2024年3月27日）
 - a. 2024年度事業計画（案）
 - b. 2024年度収支予算（案）
 - c. 関連規程等の整備（案）
 - d. 協力企業との適正取引の推進に向けた行動計画（案）

（3）運営幹事会

2023年度に次のとおり9回開催し、毎月の産業機械受注状況、輸出契約状況、環境装置受注状況、海外情報、当工業会の活動状況等について報告を行った。

- ア. 第100回運営幹事会（2023年4月25日）
 - a. 講演
 - テーマ：産業機械を巡る政策軸
 - 講師：安田 篤 殿 経済産業省 製造産業局 産業機械課長
 - b. 常任幹事・幹事補充
 - c. 委員長の選出
 - d. 新入会員
 - e. 2022年度事業報告（案）
 - f. 2022年度決算報告（案）
 - g. 決議（案）
 - h. 2023年度産業機械工業功績者表彰候補者（案）
- イ. 第101回運営幹事会（2023年6月29日）
 - a. 講演
 - テーマ：GX実現に向けた取組（概要）
 - 講師：畠山陽二郎 殿 経済産業省 産業技術環境局長
 - b. 常任幹事補充選任
 - c. 部会長の選出
- ウ. 第102回運営幹事会（2023年7月25日）
 - a. 講演
 - テーマ：通商白書2023
 - 講師：相田 政志 殿 経済産業省 通商政策局 企画調査室長
 - b. 常任幹事・幹事補充選任
 - c. 部会長の選出
- エ. 第103回運営幹事会（2023年9月22日）
 - a. 講演
 - テーマ：中国版「経済安全保障」と日本としての対応案
 - 講師：川渕 英雄 殿 経済産業省 参事官（サプライチェーン強靱化担当）

- b. 部会長の選出
- c. 令和6年度税制改正要望（案）
- オ. 第104回運営幹事会（2023年10月24日）
 - a. 講演
 - テーマ：「ものづくり白書」の概要
 - 講師：川村 美穂 殿 経済産業省 製造産業局 製造産業戦略企画室長
 - b. 2023年度海外貿易会議 概要報告
- カ. 関西大会（第105回運営幹事会及び関西地区会員との合同会議）（2023年11月20日）
 - a. 政策提言－日本経済の力強さを取り戻していくために（案）
 - b. 講演
 - テーマ：関西経済の未来に向けて
 - 講師：信谷 和重 殿 経済産業省 近畿経済産業局長
- キ. 第106回運営幹事会（2023年12月19日）
 - a. 講演
 - テーマ：今後の日本のエネルギー戦略
～カーボンニュートラルの実現とエネルギー安全保障の強化に向けて～
 - 講師：寺澤 達也 殿 一般財団法人日本エネルギー経済研究所 理事長
 - b. 新入会員
 - c. 「環境活動計画」フォローアップ調査実施報告
 - d. 低炭素社会実行計画2030年度目標の見直し
 - e. 2024年新年賀詞交歓会
- ク. 第107回運営幹事会（2024年2月27日）
 - a. 講演
 - テーマ：COP28について
 - 講師：小林 出 殿 経済産業省 産業技術環境局
審議官（環境問題担当）
 - b. 幹事補充選任
- ケ. 第108回運営幹事会（2024年3月27日）
 - a. 講演
 - テーマ：GX実現に向けた「分野別投資戦略」について
 - 講師：西田 光宏 殿 経済産業省 産業技術環境局 環境政策課
GX投資促進室長
 - b. 2024年度産業機械受注見通し（案）
 - c. 2024年度事業計画（案）
 - d. 2024年度収支予算（案）
 - e. 委員長の選出
 - f. 協力企業との適正取引の推進に向けた行動計画（案）

(4) 会長、副会長会議

当工業会の運営及び事業活動の円滑化を図るための基本的事項について協議を行う

ため、2024年3月8日に開催し、産業機械業界の景気動向、2024年度事業計画案、同収支予算案、その他当面の諸問題について協議、懇談を行った。

(5) 会長、委員長、部会長会議

2023年12月19日に開催し、各委員長、部会長から委員会、部会活動状況等の報告と共に、当面の課題について懇談を行った。

(6) 監事監査

2022年度の事業報告及び決算報告について、2023年4月20日に井上監事（株式会社井上製作所）、竹中監事（一般財団法人日本品質保証機構）によって監査が行われた。

2. 新年賀詞交歓会等会員相互等の交流機会の提供

(1) 定時総会パーティ

The Okura TOKYOにおいて、2023年5月25日に定時総会、産業機械工業功績者表彰式の終了後に開催した。

(2) 新年賀詞交歓会

The Okura TOKYOにおいて2024年1月11日に開催した。来賓を代表され、経済産業省製造産業局長 伊吹英明殿から挨拶があり、参加者一同新年の賀詞を交歓した。

3. 2023年度産業機械工業功績者の表彰

2023年5月25日の定時総会において、次のとおり表彰した（表彰順）。

氏名	会社名	推薦部会・委員会
荒井 健 殿	月島アクアソリューション株式会社	環境装置部会
今中 照雄 殿	株式会社神鋼環境ソリューション	化学機械部会
久保田裕之 殿	株式会社荏原製作所	風水力機械部会
郡司 裕次 殿	株式会社キトー	運搬機械部会
小林 信彦 殿	株式会社IHI	環境委員会
永山 貴志 殿	株式会社クボタ	環境装置部会
長谷川 豊 殿	芝浦機械株式会社	プラスチック機械部会
元持 弘二 殿	株式会社クボタ	編集広報委員会
若松 広茂 殿	株式会社川本製作所	風水力機械部会

4. 団体生産物賠償責任保険（PL保険）の提供

2023年度国内・海外生産物賠償責任保険（PL保険）の募集を実施し、円滑な運営に努めると共に、2024年度の募集に向け、保険制度の確認等を行った。

5. 全国産業機械野球大会及び産業機械テニス大会等の福利厚生事業

(1) 第70回全国産業機械野球大会

会員各社従業員の厚生事業の一環として、1954（昭和29）年から毎年開催していたが、全日本実業団野球連盟主催の大会（東京ドーム）が今後開催されない等の理由により中止となった。

(2) 第64回産業機械テニス大会

会員各社従業員の厚生事業の一環として、1960（昭和35）年から毎年開催しており、日刊工業新聞、産業経済新聞社の後援のもと、2023年8月26日に三菱重工業株式会社桜ヶ丘コート（東京都大田区）において開催した。なお、参加チームは6チームであった。

優勝：三菱重工業株式会社

準優勝：株式会社クボタ

第3位：三機工業株式会社

(3) 2023年度会長杯ゴルフ大会

会員の親睦をより一層深めることを目的として毎年2回会長杯ゴルフ大会を開催している。2023年度の優勝者は次のとおりであった。

ア. 第1回 2023年5月26日 相模カンツリー倶楽部

優勝：田中 寛海 殿 トーヨーカネツ株式会社

イ. 第2回 2023年11月21日 茨木カンツリー倶楽部

優勝：田中 寛海 殿 トーヨーカネツ株式会社

一般社団法人 日本産業機械工業会

本 部 東京都港区芝公園3丁目5番8号
〒105-0011 (機械振興会館4階)

電 話 東京 (03) 3434-6821 番 (代)

F A X 東京 (03) 3434-4767 番

関西支部 大阪府大阪市北区西天満2丁目6番8号
〒530-0047 (堂ビル2階)

電 話 大阪 (06) 6363-2080 番 (代)

F A X 大阪 (06) 6363-3086 番
